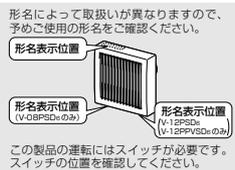


MITSUBISHI

三菱パイプ用ファン 居室・トイレ・洗面所用

取扱説明書

お客さま用



●ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇（電気器具その他）のスイッチの入・切をしない（爆発や引火の原因になります）	禁止	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない（本体・部品の落下によるけがの原因になります）
水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない（ショートや感電の原因になります）	禁止	●高温（40℃以上）になる場所や直接炎があつたり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所で使用しない（火災の原因になります）
分解禁止	●改造や分解はしない（火災・感電・けがの原因となります） 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。	接触禁止	●運転中は羽根の中に指や物を入れない（けがの原因になります）
指示に従い必ず行う	●交流 100V を使用する（直流や交流 200V を使用すると感電の原因になります） ●異常・故障時は、直ちに使用を中止する そのまゝ、使用するまで発火・発火、感電、けがに至るおそれがあります。 ＜異常・故障時＞ ●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●回転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です。） ●こげ臭いにおいがする。 ●本体取付部に腐食・破損等がある。等 ※すぐに分電盤のブレーカーを切って、販売店へ点検修理を依頼する。 ●お手入れの際は分電盤のブレーカーを切る（感電やけがの原因になります）	指示に従い必ず行う	●お手入れの際は手袋を着用する（着用しないけがの原因になります） ●部品の取付けは確実に（落下によるけがの原因になります） ●長期間使用しない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切る（絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります）

ご使用にあたってのお願い

- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください（中性洗剤をご使用ください）。シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンジャーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など（異常音の発生、変質、変色、塗装ががれの原因）
- V-12PPVSD6は外気侵入などを抑えるため、排気側は風圧式シャッターを設けてください。風圧式シャッターは、急激なドアの開閉や外風の強い時などには、シャッター閉じ音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

使用方法

運転は壁のスイッチで運転開始と停止（V-08・12PSD6はシャッターが開・閉）を行います。

お手入れ

- グリル、シャッター、羽根にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。約4か月に1度を目安に清掃してください。
- 長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検（「愛情点検」を参照ください）をお願いします。

1. 清掃部品を取りはずす

1. グリルの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げはずす。
2. シャッター枠をつまみを持ち、横にスライドさせてから、手前に取りはずす。（V-08・12PSD6のみ）



2. 清掃する

1. グリル、シャッター枠は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗い、よく乾かす。
2. 羽根、本体は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふく。

お願い

- 洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。
- お手入れの際、シャッターはシャッター枠からはずさないでください。また、羽根に衝撃を与えたり、シャッター中央部やモーターの軸に無理な力をかけないでください。（シャッター開閉不良や異常音発生の原因になります）

3. お手入れ後の取付け

1. 取付けは取りはずしと逆の順序で行う。
●シャッター枠は最後まで差し込んでください。
2. 取付け後、次の確認をする。
(1) グリル、シャッター枠が確実に取付けられていますか。
(2) 異常な音が出ていませんか。（必ず運転をして確認してください）

故障かな？と思ったら

●次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原因	点検・処置
スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが切れていませんか	「入」にします
シャッターが閉じない	シャッターにほこり、異物が付着していませんか	清掃します
	シャッターがシャッター枠やシャッターに引っ掛かっていますか	引っ掛かりを取り除きます
シャッターがばたつく羽根が逆転する、回転が遅い、または不規則	電子式スイッチ（半導体制御による速調スイッチ・タイマー等）と組み合わせ使用していませんか	販売店または工事店へ連絡します
	外風の影響にて発生する可能性があります	無風状態で確認します
シャッターが開かない	シャッターにほこり、異物が付着していませんか	清掃します
	シャッターに水が付着していませんか	水を拭き取ります
運転中に異常音や振動がする	シャッターが確実に取付けられていますか	取付け直します
	本体・グリルが確実に取付けられていますか	取付け直します
	羽根・グリルにほこり・異物が付着していませんか	清掃します

●モーターの軸受は回転がなして時間が経つにつれ、音に変化することがありますが、異常ではありません。

アフターサービス

ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合せ（ご相談）いただいた修理・保守・工事および製品の取扱いに関しましてお客様より提供いただいた個人情報、本目的のみに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合せ（ご相談）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①法的目的のために、当社グループ会社、協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める根拠に基づき行う場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店がお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の取扱方法・掘付方法についてのご案内 受付時間365日24時間

■ご相談対応 平日 9:00～12:00 13:00～19:00 (土・日・祝・当社休日以外)	三菱電機換気送風機技術相談センター 全国どこからでもおかけいただけるフリーダイヤル フリーダイヤル 0120-726471 (無料)	三菱電機株式会社 中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市御駒町1番3号 FAX (0573)-66-5659 (有料) 電話 (0573)-66-8220 (有料)
■上記時間帯以外のご相談（受付のみ）	三菱電機お客さま相談センター 全国どこからでもおかけいただけるフリーコール フリーコール 0120-139-365 (無料) 10月～3月 3.6.8.9日	携帯電話・PHS・IP電話の場合 三菱電機お客さま相談センター 〒104-0031 東京都中央区東三丁目3-10-3 FAX (03) 3413-4049 (有料) (03) 3414-9655 (有料)

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼 受付時間365日24時間

三菱電機修理受付センター 〒104-0031 東京都中央区東三丁目3-10-3 0120-56-8634 (無料) www.melco.jp	携帯電話・PHS・IP電話の場合 北海道・東北 札幌東区 日本 札幌東区 FAX (03) 3424-1115 (有料) (03) 3424-1111 (有料) 東海・北陸・関西 西日本 中国・四国・九州 西日本 FAX (06) 6454-3900 (有料) (06) 6454-3901 (有料)
---	--

空メールの送り先: fc8634@melco.jp
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますが、あらかじめご了承ください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパイプ用ファンの補修用性能部品を、製造打切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。長年ご使用いただくためにパイプ用ファンのメンテナンスが必要です。モーターは消耗部品です。

仕様

形名	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)	質量 (kg)
V-08PD6	50	1.8	75	20	0.45
	60	2.2	85	23	
V-08PSD6	50	4.2	75	25	0.66
	60	4.6	85	27	
V-08PXD6 (-BE)	50	1.8	75	20	0.54
	60	2.2	85	23	
V-08PPXD6	50	3.9	100	28.5	0.58
	60	4.7	120	32.5	
V-12PSD6	50	5.9	135	31	1.08
	60	6.7	145	33	
V-12PPVSD6	50	6.4	140	33	0.95
	60	7.1	160	37	

※特性はJIS C 9603に基づく

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】
※経年劣化により危険の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

【設計上の標準使用期間とは】
※標準使用条件 JIS C 9921-2
※運転時間や湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものではありません。
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を以て設計上の標準使用期間を算出しています。
●「経年劣化」とは長期にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

環境条件	電圧	電圧	定格電圧による
周波数	50Hz および 60Hz		定格周波数による
湿度	20℃		JIS C 9603 から引用
湿度	65%		
負荷条件	設置条件	標準設置	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	定格負荷	「仕様」による
		換気時間 [※]	
		2410 時間/年	
		2193 時間/年	
		2614 時間/年	
		1671 時間/年	

注[※] 24時間換気のもの、8760時間/年とする。

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか？

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- こげ臭いにおいがする。
- 本体取付部に腐食、破損等がある。

使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さま メモ	形名	お買上げ年月日	年 月 日
サービス依頼される とき便利です。	お買上げ店名	(住 所)	
		(電話番号)	() () ()

この製品には地球環境保護の一環として再生素材が使用されているように主なるプラスチック部品に材質名を表示しています。
(材質名は主材料にISO規定の略号を使用。)